

<速報>

\* 9月1日、ブラジル上院の弾劾法廷で大統領を罷免されたルセフ氏が、決定の取り消しを求めて最高裁に異議申し立てを行った。

\* 9月1日、ベネズエラの首都カラカスでマドゥロ大統領の罷免を問う国民投票の早期実施を求める大規模なデモが行われた。過去10年で最大規模の100万人以上が参加。

\* 9月1日、米国のジョージタウン大学のデジョイア学長が大学運営団体のカトリック・イエズス会が1838年に所有していた黒人奴隷272人を大学の財政難解消のために売却するなど奴隷制に関わったことを公式に認め謝罪した。

\* 9月2日、パキスタン北西部ペシャワール近郊で裁判所などを狙った襲撃が2件発生し、少なくとも13人が死亡、50人以上が負傷した。「パキスタン・タリバン運動 (TTP)」の分派組織が犯行声明を発出。

\* 9月2日、インド全土で最低賃金引き上げや労働法改悪反対など12項目の要求を掲げた全国労組共同の呼びかけによるゼネストが実施され、1億5000万人以上が参加した。

\* 9月2日、スペインの課員が暫定政権を続けるラホイ首相の正式選出を反対多数（賛成170、反対180）で否決した。

\* 9月2日夜、フィリピン南部ミンダナオ島のダバオ市で爆発事件が発生し、14人が死亡、71人が負傷した。「アブサヤフ」が犯行声明を発出。

\* 9月3日夕、G20会場となった中国の杭州（景勝地「西湖国賓館」）で習近平国家主席とオバマ大統領による長時間の首脳会談が行われた。会談後の共同声明で両国政府が2020年以降の地球温暖化対策の国際ルール「パリ協定」について、両国が必要な手続きを終え、締結したと発表した。

\* 9月4日、ドイツ北東部メクレンブルグ・フォアポンメルン州の州議会選挙が実施され、反難民を掲げる新興の右派政党「ドイツのための選択肢 (AfD)」が20.8%与党キリスト教民主同盟 (CDU) の得票率19.0%を上回り、第2党に躍進した。SPDは前回選挙より5.0%低い30.6%だったが首位を維持。

\* 9月4日、トルコ軍が同軍が支援する「自由シリア軍」がシリア北部の対トルコ国境沿いから「イスラム国」を排除したと発表した。

\* 9月4~5日、中国の杭州でG20首脳会議が開催され、低迷する世界経済に政策協調で対応する姿勢を打ち出した。閉幕後の記者会見で議長国となった中国の習近平国家主席が「G20は同じ船に乗る精神で、マクロ性sカウを緊密に協調することで合意した」と強調した。

\* 9月5日、北朝鮮が中距離弾道ミサイル3発を発射し、日本の排他的経済水域 (EEZ) 内に落下させた。

\* 9月5日夕、アフガニスタンの首都カブールの国防省前で2度にわたって爆発があり、国防省職員ら少なくとも24人が死亡、90人以上が負傷した。「タリバーン」が犯行声明を発出。

\* 9月5日夜、中国・杭州で安倍首相が中国の習近平国家主席と会談し、両首脳は様々な分野で対話を進めていくことで合意。また、東シナ海などでの日中の偶発的な衝突を避けるための「海空連絡メカニズム」について、日本政府は運用の早期開始を求めていたが、会談では協議を加速していくことで一致した。

\* 9月5日、シリアの地中海沿岸タルトゥス県など4ヶ所で爆発事件があり、少なくとも48人が死亡、60人が死亡した。「イスラム国」が系列の通信社アマクを通じて犯行声明を発出した。

\* 9月6日、キルギスの国家安全委員会が、8月30日に中国大使館に自動車爆弾事件が発生した件について、ウィグル独立派の犯行との見方を示した。

\* 9月6日、パリ市が中東やアフリカから来る難民・移民向けの一時滞在キャンプを科に設置すると発表した。10月にオープンし、最大600人を受け入れる。

\* 9月6日、ASEAN 関連首脳会議に出席するためラオスを訪れているオバマ大統領が、同日午後に予定していたフィリピンのドゥテルテ大統領との会談を取りやめた。

\* 9月6日、シリア北部アレッポでヘリコプターから反体制派が支配する地域に塩素ガス弾とみられるものが投下され、1人が死亡、子どもら120人以上が病院で手当てを受けた。

\* 9月6日、コロンビアのサンτος大統領が同日配信のロイター通信とのインタビューで、1か月後に実施される FRAC との和平交渉に関する国民投票について、「大きなチャンスだと国民は理解してくれる」と語った。

\* 9月6日、国連安保理が北朝鮮が5日に中距離弾道ミサイルを発射したことについて、「強く非難する」という報道声明を発出した。

\* 9月6日、米国のローズ大統領副補佐官がオバマ大統領が検討していた核兵器の先制不使用政策について、「我が国の（同盟国に対する）安全保障は岩のように堅固で、今後もその方針をとり続ける」と述べ、先制不使用を宣言することに否定的な考えを示した。

\* 9月9日、北朝鮮がハムギョン北道吉州郡豊溪里の実験場で5回目となる核実験を実施した。爆発規模は10キロトンと過去最大規模だが、核弾頭の小型化も進んだとみられる。9日、米国国防総省のデービス報道官が、北朝鮮が主張する核弾頭の小型化の成功について、「彼らの言葉通りに受け取り、主張が本当であると想定する」と発言。同日午後、国連安保理が非公式の緊急会合を開き、実験は一連の安保理決議と核の不拡散体制に「明白に違反している」として、「強く非難する」報道機関向けの声明を全会一致でまとめた。

\* 9月9日、南欧7ヶ国がアテネで「南欧サミット」を開催し、緊縮政策の緩和や雇用創出、難民らの受け入れに関する EU への要望をまとめた「アテネ宣言」を採択した。「南欧サミット」はギリシャのチプラス首相が呼びかけたもので、ギリシャ、イタリア、スペイン、ポルトガル、フランス、キプロス、マルタが参加した。

\* 9月10日、シリア内戦に関し、スイスのジュネーブでケリー米国国務長官とロシアのラブロフ外相が記者会見し、12日の日没時からシリア全土で「敵対行為の停止」（停戦）を再び実施することで合意したと発表した。同日、西部イドリブと北部アレッポで空爆が行わ

れ、約90人が死亡した。政府軍によるものかロシア軍によるものかは不明。

\*9月10日、コロンビアのFARCが、兵士としていた13人の子どもを開放した。FARCは昨年2月、17歳以下の少年を戦闘員として勧誘することをやめると宣言していた。

\*9月11日、スペインのカタルーニャ州で独立を主張する諸団体の呼びかけで「カタルーニャの日」を記念するデモが行われ、州内各地で100万人以上が参加した。

\*9月11日、トルコ政府が選挙で選ばれた28の自治体首長を停職にし、行政官を任命した。うち24自治体はクルド人が多い地域。

\*9月12日、韓国国防省報道官が記者会見で北朝鮮の6回目の核実験の可能性について、「韓米情報当局は豊溪里地域でいつでも追加の核実験ができる準備が整っていると評価している」と発言した。

\*9月12日午後7時、シリアで米国とロシアの合意に基づくアサド政権側と反体制派に求める停戦が発効した。

\*9月12日、フィリピンのドゥテルテ大統領がミンダナオ島で展開している米軍特殊部隊がイスラム過激派掃討作戦の障害になっているとして退去を求めた。

\*9月13日、ドイツ政府が「イスラム国」からの指令でテロを計画した疑いでシリア人とみられる男3人(26歳、19歳、17歳)を北部シュレスピヒホルシュタイン州で逮捕した。3人は「イスラム国」から指令を受けて入国したふた買いが持たれている。

\*9月12~14日、ニジェールとチャド両国政府軍がニジェール南東部のディアファ地区で「ボコ・ハラム」に対する掃討作戦を行い、戦闘員38人を殺害した。

\*9月14日、米国・イスラエル両国政府が米国がイスラエルに2018年から10年間で380億ドルを軍事支援する覚書に調印した。二国間での軍事支援では、米国史上最高額。

\*9月14日、EUがEU主導で域外との国境警備を強化する「欧州国境沿岸警備隊」の創設を最終承認したと発表した。

\*9月14日、ブラジル検察が汚職事件で汚職とマネーロンダリングの罪でルラ元大統領を起訴した。

\*9月16日、福岡高裁那覇支部が米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設計画をめぐる埋め立ての商人を取り消した沖縄県の翁長雄志知事を国が訴えた訴訟で、国の主張を認め、翁長知事が承認を取り消しに応じないのは違法だとする判決を言い渡した。

\*9月16日、イギリスを除くEU27ヶ国がスロバキアの首都ブラチスラバで非公式の首脳会議を開催し、EUの信頼回復に向けた「行程表」を示し、市民の関心が高い難民問題やテロ対策を協議した。

\*9月16日、パキスタン北西部ペシャワール近郊でモスクを狙ったとみられる自爆テロがあり、少なくとも36人が死亡した。「パキスタン・タリバン運動(TTP)」の分派組織が犯行声明を发出。

\*9月16日、米国国防総省のクック報道官が米軍主導の有志連合が「イスラム国」が首都とみなすシリア北部ラッカ近郊を空爆し、「イスラム国」の「情報相」を務めるワイル・ア

ディル・ハサン・サルマン・ファイヤド容疑者を殺害したと発表した。

\* 9月17日夜、米国ニューヨーク市のチェルシー地区で爆発があり、少なくとも29人が負傷した。19日、FBIがアフガニスタン出身の米国籍のアフマド・カーン・ラハミ容疑者(28)を指名手配した。

\* 9月17日、米軍主導の有志連合が停戦対象となっていたシリアのアサド政権軍を空爆したとして、ロシアが国連安保理の緊急会議を要請した。有志連合軍がシリア東部デリゾール空港付近を空爆したが、アサド政権拠点を空爆したもの。

\* 9月17日、インド統治下のカシミールで反インドデモに参加していた荘園が治安部隊の発砲で死亡したことに抗議して数千人が少年の葬儀に参加した。18日、カシミール地方のインド支配地域でインド軍基地にカシミール分離独立派の武装勢力が侵入して銃撃戦となり、兵士17人と武装勢力側の4人が死亡した。

\* 9月17日、コロンビアのFARCが26日の同国政府との和平合意調印を前に、南部ヤリで第10回大会を開催し、全国から約200人のメンバーが参加。和平合意を承認し、今後の活動について議論を行った。

\* 9月17~18日、ベネズエラのマルガリータ島で第17回非同盟諸国首脳会議が開催された。議長国の権限がイランからベネズエラに引き渡された。軍縮、国連改革を訴える「マルガリータ宣言」を採択した。

\* 9月18日、ロシアで下院(定数450)の選挙が行われ、政権与党の「統一ロシア」と、プーチン大統領の外交・防衛政策を支持する準与党「共産党」「公正ロシア」「自由民主党」の4党が議席をほぼ独占した。「統一ロシア」は(開票率80%段階で)54.28%、「共産党」13.61%、「自由民主党」13.37%、「公正ロシア」6.17%。

\* 9月18日、ドイツの首都ベルリン市で議会選挙があり、難民の植木レ反対を訴える新興の右派政党「ドイツのための選択肢(AfD)」が14.2%を得票し、全議席160議席の中で25議席を獲得。SPDは前回選挙より6.7%減の21.6%(38議席)、CDUは5.7%減の17.6%(31議席)に減少。「緑の党」は2.4%減で15.2%(27議席)、「左翼党」は3.95増で15.7%(27議席)。

\* 9月18日、シリア北部アレッポの反体制派支配地域で空爆が4回行われた。12日日没にお停戦が始まってから初めて。

\* 9月19日(日本)、安保関連法の強行から1年目となった同日「戦争法をぜったい廃止に」と全国各地で集会、デモが行われ、総がかり実行委員会が呼びかけた国会正門前の行動には2万3000人が参加した。

\* 9月19日、シリア北部アレッポ周辺で政府側の軍用機による空爆があり、人道支援の車列が被弾して、十数人が死亡した。これより先にアサド政権は声明を弟子、「米ロ合意に従って12日午後7時に始めた戦闘凍結の終了を発表する」と宣言していた。

\* 9月19日、米国警察当局はニューヨーク市マンハッタンで29人が負傷した爆発事件で、アフガニスタン出身でニュージャージー州に住む米国籍のアフマド・カーン・ラハミ容

疑者（２８）を銃撃戦の末に逮捕した。

＊９月２０日、オバマ大統領が国連総会に最後の一般演説をした。移民問題やグローバル経済で国際社会に攻撃的愛国主義やポピュリズムが横行している現状を嘆き、「寛容さが必要だ」と強調した。

＊９月２０日、米国ノースカロライナ州シャーロット市で黒人男性が警察官に射殺される事件が起き、抗議デモが行われた。

＊９月２０日、米ロや欧州、中東諸国などシリア紛争の関係諸国がニューヨークでシリア支援国会合を開き、会合後ケリー米国国務長官は「停戦は終わっていない」と記者団に述べた。

＊９月２１日、エジプト沖合の地中海上で難民らを乗せた船が転覆し、少なくとも３０人が死亡した。船には３００人前後が乗っていた。

＊９月２１日、ブネズエラの全国選挙評議会（CNE）がマドゥロ大統領罷免の是非を問う国民投票の実施は来年になると決定した。

＊９月２２日（日本）、安倍晋三首相が日本の首相として初めてキューバを訪問し、フィデル・カストロ前国家評議会議長、ラウル・カストロ国家評議会議長と相次いで会談した。安倍首相は両氏と経済協力や北朝鮮問題への対応などを話し合い、ラウル議長とは医療分野での約１２億７０００万円の無償資金協力を行うことで合意した。

＊９月２２日、アフガニスタン政府当局が同国のイスラム主義武装勢力の一つである「ヒズビ・イスラム（イスラム党）」と和平で号したと発表した。

＊９月２２日、国連総会出席のため訪米中のジョンソン英国外相が英国の『スカイニュース』に対して同国 EU 離脱に向けた交渉を来年初頭に開始する考えを示した。

＊９月２２日、シリアのアサド政権が声明を発し、北部アレッポで反体制派支配地域を奪還するための攻撃を開始すると発表した。

＊９月２２日、各国のユン炳世外相は国連総会の一般討論演説で核実験と弾道ミサイル発射を繰り返す北朝鮮について、「国連加盟国としての資格があるか深く再考しなければならない」と発言した。

＊９月２３日、ブラジル最高裁が２０１２年のサンパウロ市長選での不正献金疑惑に関連し、テメル大統領に対する予備捜査開始を認めた

＊９月２４日、イギリスの野党労働党の党首選挙が行われ、現党首のジェレミー・コービン党首（６７）が再選された。

＊９月２３日、国連安保理が包括的核実験禁止条約（CTBT）の早期発効と核実験の自制を各国に求める決議を賛成多数で採択した。CTBT に特化した決議を核保有国の常任理事国が一致して採択するのは初めて。

＊９月２４日、シリア北部アレッポの反体制派支配地域でアサド政権軍やロシア軍によると見られる激しい空爆が行われ、２３日以降の死者数は１００人を超えた。

＊９月２４日、フィンランドの首都ヘルシンキで人種差別や暴力的な極右過激派の台頭に抗議するデモが行われ、約１万５０００人が参加。さらに国内各地で数千人がデモを繰り広

げた。

\* 9月24日、中東やアフリカから欧州に押し寄せた難民問題で大きな影響を受けたバルカン半島諸国やドイツなどの首脳会合がウィーンで開かれ、昨年の大混乱の再来を避けるため、難民や移民の流入抑制策をさらに講じていく方針を確認した。

\* 9月25日、イエメンのイスラム教シーア派武装組織「フーシ派」政治部門指導者サレハ・サマドがサウジアラビア主導の連合軍がフーシ派への攻撃を停止すれば、サウジ国境一帯での停戦に応じると提案した。

\* 9月25日、コロンビア第2の勢力を持つ左翼ゲリラ組織「民族解放軍 (ELN)」が国民投票が行われる10月2日までの停戦を表明した。ELN 幹部のベルトラン司令官は ELN ラジオで「国民投票期間中は攻撃活動を停止する用意がある」と発言した。

\* 9月26日 (日本)、安倍晋三首相が同日招集された臨時国会の衆参両院の本会議で所信表明演説を行い、TPP 商人と関連法案の成立を目指すなど経済最優先の姿勢を打ち出した。改憲問題に関しては国会の憲法調査会での議論を深めていくと述べた。

\* 9月25日、キューバを訪問した中国の李克強首相がフィデル・カストロ前国家評議会議長と会談した。

\* 9月25日、スペインのガリシア州とバスク州で自治州議会選挙が行われ、社会労働党が両州で大敗した。ガリシア州 (75 議席) では国民党が41 議席を維持、ポデモスを含む共同会派エン・マレアが14 議席に躍進、社会労働党は4 議席減の14 議席。バスク州 (75 議席) ではバスク民族主義者党が2 議席増の29 議席、独立派のビルドゥが4 議席減の17 議席、社会労働党は7 議席減の9 議席に後退。28日、サンチェス書記長に反発する執行部35人のうち党議長ナバロを含む17人が辞任を表明した。

\* 9月26日、コロンビア政府と FARC が52年間にわたる内戦に正式に終わらせる合意文書に署名。死者は21万8094人、行方不明者2万5007人、誘拐被害者2万7023人、国内避難民571万2506人。

\* 9月27日、インド政府がインドからパキスタンに流れる河川の利用に関するインダス水協定の見直しを検討する会議を設置したことを発表した。

\* 9月27日、オバマ大統領が駐キューバ米国大使にジェフリー・デロレンティス駐代理大使を指名する人事を発表した。

\* 9月27日、シリアのアサド政権軍が北部アレッポ中心部の旧市街付近に進撃した。国営シリア・アラブ通信は軍が反体制派支配地域の一部を制圧したと報じた。

\* 9月27日、イラクの首都バグダッドのシーア派イスラム教徒が多い商業地区2ヶ所で自爆テロがあり、計17人が死亡した。

\* 9月27日、米国カリフォルニア州サンディエゴ郊外のエルカホンで警官が30代の黒人政権を射殺する事件が発生した。28日、地元の警察前には市民300人が集まって抗議した。

\* 9月28日、オバマ米国政権が「イスラム国」が支配するイラク北部の要衝モスルの奪還

作戦に向けて、米兵約600人を新たに派遣すると発表した。今回の増派によりイラク駐留米兵は5262人になる。

\*9月29日、カシミール地方の領有権を争うインドとパキスタンが同地方の実効支配線付近で銃撃戦を展開した。パキスタン軍によれば同軍兵士2人が死亡した。

\*9月30日未明、メキシコ北部シナロア州クリアカンの道路で警察の車列が武装集団に襲撃され兵士5人が死亡した。麻薬王ホアキン・すぐマン受刑者の一味による犯行と見られる。

\*9月30日、フィリピンのドゥテルテ大統領が「ヒトラーは300万人のユダヤ人を虐殺した。(フィリピンに)麻薬中毒者が300万人いる。私も喜んで殺したい」と発言。この発言に対して、世界ユダヤ人会議、イスラエル外務省、米国国生のトナー副報道官が批判した。

\*9月30日、米国のジョンズ・ホプキンス大学高等問題研究大学院の米韓研究所が北朝鮮新浦造船所(潜水艦基地)の最新の衛星画像を公表し、新造潜水艦の健三が進行中である可能性が高いと分析した。